

入札説明書

平成 30 年札幌市告示第 1062 号に基づく入札等については、札幌市契約規則、札幌市物品・役務契約等事務取扱要領その他関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 告示日 平成 30 年 3 月 1 日

2 契約担当部局

〒005-8612 札幌市南区真駒内幸町 2 丁目 2 - 1

札幌市南区市民部総務企画課庶務係 電話 011-582-4705 FAX 011-582-5469

3 入札に付する事項

(1) 調達件名

南区役所等環境衛生管理業務

(2) 調達件名の仕様等 仕様書による

(3) 調達期間 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までとする。

(4) 履行場所

札幌市南区役所及び南区民センター（札幌市南区真駒内幸町 2 丁目 2 - 1）

(5) 入札方法

総価で行う。なお、落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の 8 % に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 108 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

4 入札参加資格

(1) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。

(2) 平成 27～29 年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）において、業種が大分類：一般サービス業、中分類：建物環境衛生管理業、小分類：室内空気環境測定業、水質検査業、貯水槽清掃業、ねずみ・昆虫等防除業のいずれにも登録されている者。

(3) 平成 27～29 年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）において、所在区分が「市内」に登録されている者。

(4) 建築物環境衛生管理技術者の資格を有するものを保有し、当該業務に選任できること。

(5) 北海道の「建築物衛生事業登録者名簿（平成 29 年 12 月 31 日現在）」において、建築物室内空気環境測定業、建築物飲料水水質検査業、建築物飲料水貯水槽清掃業、建築物ねずみ昆虫等防除業のいずれにも登録がある者、または建築物環境衛生総合

管理業に登録がある者。

- (6) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始の決定後の者は除く。）等経営状態が著しく不健全な者でないこと。
- (7) 札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を受けている期間中でないこと。
- (8) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が構成員単独での入札参加を希望していないこと。

5 入札書の提出場所等

- (1) 入札書の提出場所、契約条項を示す場所及び問い合わせ先
上記2に同じ。
- (2) 入札の日時及び場所
平成30年3月26日（月）午前10時00分
札幌市南区役所3階中会議室（札幌市南区真駒内幸町2丁目2-1）
- (3) 入札書の提出方法
入札書は別紙1の様式にて作成し、上記(2)の指定日時及び場所において直接入札箱へ投函（紙入札方式）すること。（送付及び電送による提出は認めない。）
- (4) 本件の仕様書に対する質問
 - ア 質問の提出方法
書面による持参、送付又はファクシミリにより提出すること。
 - イ 質問の提出先及び提出期限
上記2の契約担当部局へ、上記1の告示の日から平成30年3月14日17時00分までの間に提出すること。
 - ウ 質問に対する回答
平成30年3月20日以降、上記2の契約担当部局にて閲覧に供するとともに、下記URLの南区ホームページに掲載する。
<http://www.city.sapporo.jp/minami/keiyakujoho/20170314-2.html>
- (5) 入札の無効
本入札説明書に示した競争参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に違反した者のした入札その他札幌市契約規則第11条各号の一に該当する入札は無効とする。
- (6) 入札の延期等
次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、又はこれを取り消すことがある。
 - ア 入札者が相連合し、又は不穩の挙動をする等の場合であって、競争入札を公正

に執行することができない状態にあると認められるとき

イ 天災その他やむを得ない事情が発生した場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき

ウ 調達を取りやめ、又は調達内容の不備があったとき

(7) 代理人による入札

ア 代理人が入札する場合には、入札書に競争参加資格者の氏名、名称又は商号、代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国人の署名を含む。）をしておくとともに、開札時までには委任状（別紙2）を提出しなければならない。

イ 入札者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

(8) 開札の日時及び場所

入札終了後、直ちに上記(2)の場所にて行う。

(9) 開札

ア 開札は、入札後直ちに上記(2)の場所において、入札者又はその代理人を立ち会わせて行う。

イ 入札者又はその代理人は、入札時刻後においては、入札場に入場することはできない。

ウ 入札者又はその代理人は、入札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状（別紙2）を提示しなければならない。

エ 入札者又はその代理人は、入札執行職員又はその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札場を退場することができない。

オ 開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないときは、再度の入札を行う。なお、再度入札の回数は、原則として2回を限度とする。

6 その他

(1) 入札保証金 免除

(2) 契約保証金 要

契約を締結しようとする者は、落札金額の100分の10に相当する額以上の契約保証金又はこれに代える担保を、落札決定後、契約保証金の納付に係る通知（納入通知書到達）の日の翌日から起算して5日後（5日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）までに、納付し、又は提供しなければならない。

なお、指定期日までに納付又は提供がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第 25 条各号の一に該当するときは、契約保証金の納付を免除することがある。

(3) 入札者に要求される事項

入札参加者は、本入札説明書、仕様書、契約書案等について、疑義がある場合は、関係職員に説明を求めることはできるが、入札後は、これらの不明を理由として異議を申し出ることにはできない。

(4) 落札者の決定方法

ア 札幌市契約規則第 7 条の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

イ 落札者となるべき同価の入札をした者が 2 人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。この場合において、当該入札者又はその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

(5) 落札の取消し

落札者が次の各号の一に該当するときは、当該落札を取り消すものとする。

ア 契約の締結を辞退したとき又は市長の指定した期日内に契約を締結しないとき。

イ 入札に際し不正な行為をしたと認められるとき。

ウ その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき。

エ 契約担当部局の求めによる確認書類等の提出に期限までに応じないとき。

(6) 契約書の作成

ア 競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、遅滞なく契約書を取り交わすものとする。

イ 市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

(8) 契約条項 別紙 3 のとおり

(9) 入札参加資格が認められなかった者に対する理由の説明

入札参加資格が認められなかった者は、本市に対して入札参加資格が認められなかった理由について、原因となった事実を知り、又は合理的に知り得たときから 10 日以内（札幌市の休日を定める条例に定める休日を除く。）に、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

ア 提出場所

上記 2 に同じ

イ その他

提出は持参することにより提出するものとし、送付又は電送によるものは受け付けない。